



富屋地区
シンボルマーク

みんなで 仲良くやっぺ ふるさと富屋

100号

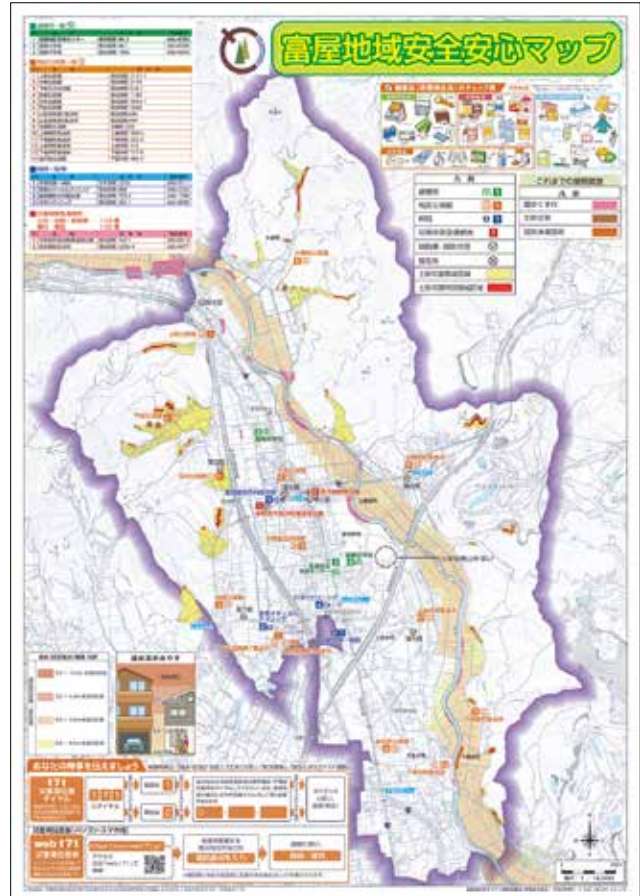
2021(令和3年)
9月発行
広報とみや

改訂版「富屋地域安全安心マップ」を全戸配布

富屋地区まちづくり連絡協議会地域安全部会では、令和元年10月の台風による大雨で富屋地区内においても想定を超える被害に遭ったことから、昨年度から現地調査も行いながら、平成27年度作成の「地域安全安心マップ」の見直し作業を進めてきました。この度、本年度になって公表された県・市のハザードマップの情報も加えた改訂版の「安全安心マップ」が完成し、全戸に配布しました。このマップを目に付きやすい場所に貼り、日頃から災害等への備えをお願いします。

☆改訂版の特徴は次の通りです。

- 1 新たに、富屋地域内を流れる田川の浸水(想定最大)情報を入れたこと
- 2 「護岸崩れ」「土砂災害」「堤防決壊箇所」「土砂災害警戒区域」「土砂災害特別警戒区域」を最新の情報にしたこと
- 3 公民館、集会所の位置や名称、消防団詰所の位置を見直したこと



和 裁



気持ちを込めた贈り物

若い頃、和裁や茶道、華道、編み物などの習い事をしました。今も手先を動かして物を作り、形になっていくことに楽しさを感じています。

最近の作品は「浴衣」です。息子夫婦がお祭りに着ていける浴衣を縫ってプレゼントをしようと思い、喜んでくれる姿を思い浮かべながら一針一針縫いました。浴衣と一緒に下駄や帯も送りました。気に入って

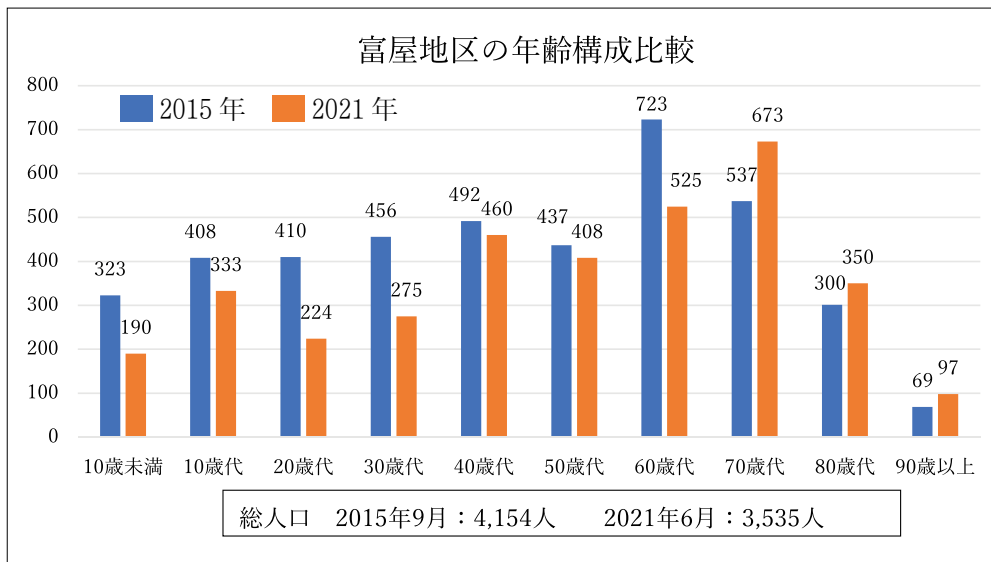
着てくれている写真が送られて来た時には、嬉しさで胸が熱くなりました。現在、両手指手根管症候群を病んでいて、健康時のような力は出せないため、浴衣のような大作にチャレンジするのは難しくなるかもしれませんが、できる範囲で作る楽しさや出来上がったときの達成感を味わいたいと思っています。

(下町 半田江津子)

いつまでも元気に 楽しく 生き生きと

地区内の同年配や知人と顔を合わせ、長寿を祝う敬老会が、新型コロナウイルス感染防止のため今年も中止となりました。高齢者の方に長生きの秘訣などをお聞きしたいと思っていたのですが、それも叶いませんでした。

そこで、富屋地区の年齢構成を6年前と比較してみました。総人口は619人ほど減少しています。10歳未満から60歳代まではどの年代も減少しており、特に、30歳代までの若年層の減少が顕著です。しかし、70歳代から90歳以上は、総人口が減っているにもかかわらず増加しており、6年間でかなり少子高齢化が進んでいます。



人生100年時代です。皆さん、いつまでも元気に、楽しく、はつらつとした生活を送っていきましょう。



富屋に学ぶ子どもたち

○徳次郎保育園「コロナ禍でも豊かな心を」

コロナ禍であっても子どもたちの成長は待ってはくれません。この様な世の中だからこそ、「より豊かな心を育てたい」という想いで感染防止対策を講じながら可能な限りのたくさんの経験の場を保育活動に取り入れています。毎年七夕に行う流しそうめんも、そうめんをすくうフォークと口に運ぶお箸を区別して実施しました。満面の笑みでそうめんを頬張る子どもたちを見て「やって良かったなぁ」と感じました。また、いつもなら地域の皆様にもご参加いただいている納涼祭も、昨年同様園内

園長 高野 順子



関係者のみで規模を縮小し実施いたしました。それでも年長児は声高らかに掛け声をかけ、力一杯御神輿を担ぎ一際たくましい笑顔を見せてくれました。「ふるさとまつり」でのダンスや「ファイト!とみや」での和太鼓を皆様に披露できないのは残念ですが、徳次郎保育園の子どもたちは元気です!!早く以前のように皆さんと交流出来る日々が戻ることを祈るばかりです。

とみや地域学を学び、ガイド役で伝える

6月3日から地区市民センターホールを会場に開講してきた、[とみや地域学]『富屋の自然・歴史・文化財ガイド養成講座』が、7月8日に終了しました。この講座は富屋生涯学習センターと富屋地区まちづくり連絡協議会文化活動部会が、地区の歴史や文化をガイドできる人材を育成しようと、平成27年度からスタートさせました。本年度も宇都宮市文化財調査員の池田貞夫さんを講師に、第1回「富屋の地形・地質と徳次郎石」、第2回「日光街道沿いの史跡」、第3回現地研修「中世の古道を歩く」、第4回「中世の古道と史跡」、第5回「富屋の伝統文化」をテーマとして、5回シリーズで講義や見学会が行われました。

本年度の参加者は30名で、そのうち地区外から9名の参加があり、「富屋にこんなに素晴らしい歴史があるとは知らなかった」「楽しく学べてよかった」など、多くの感想が寄せられました。本講座を修了した皆さんは今後、市や

地区のイベント、富屋小のふるさと学習などで、ガイド役として活躍が期待されます。



ふるさと再発見[®]

渡辺文雄



昭和59年から4期連続で栃木県知事を務めた故渡辺文雄は、徳次郎ゆかりの人物です。昭和4年、宇都宮市石町（現在の一番町）に生まれ、旧制宇都宮中（現宇都宮高）から東京陸軍幼年学校に入学しましたが、在学中に終戦を迎えました。その後旧制水戸高校を経て東京大学法学部に進学。卒業後は農林省（現農林水産省）に入省し、官僚のトップである事務次官まで栄進しました。次官就任直後、県知事候補に推されて見事初当選を果たし、以来16年間県政を担いました。

故人の母の実家が、徳次郎町中町であったことから、しばしば徳次郎を訪れ幼少期を過ごしています。特に夏休みには実家にやってきて、母屋の2階や広い酒蔵で、よく本を読んだそうです。また終戦後、宇都宮中に編入した際には徳次郎に下宿し、当時砂利道であった日光街道を自転車で通学しました。知事になってからも時折徳次郎を訪れており、富屋小学校創立120周年記念誌に、「徳次郎は私の第二の故郷」と寄稿しています。手堅い行政手腕を発揮し、県勢発展に多大な功績を残した元知事は、令和2年3月、91歳の生涯を閉じました。（文化財調査員 池田 貞夫）



3 B体操で健康づくり



7月2日(金)と8月6日(金)に健康づくり推進連絡協議会主催による「3 B体操教室」を実施しました。

7月には、健康づくり推進員のほか2人、8月には、10人の参加があり、ソーシャルディスタンスを保ち、マスクを着用しながらの実施となりました。

3 B体操は、ボール・ベル・ベルダーという3つの用具を使用し、音楽に合わせて実施する体操ですが、体操していくうちにじわっと汗が出てきて、初めて実施した方にも無理なく行えると大変好評でした。

コロナ禍、運動する機会が少ないことと思いますが、時々外に出て、汗をかくことも必要ですね。(なお、令和3年度の3 B体操教室は定員に達しましたので募集は終了しております。)



～ Miya (ミヤ) 運動のご紹介～



コロナ禍でも運動を継続し、免疫力を高めましょう！

気軽にエンジョイ Miya (ミヤ) 運動
動画で配信中！こちらからご覧ください。



宇都宮市オリジナル運動メニュー

気軽にエンジョイ Miya 運動

検索

お知らせ

NHK「日本人のおなまえ」という番組で、とくじらの名前の復活についての内容が放映されます。ぜひご覧ください。

放映日時 11月18日(木) 19：57～20：42 再放送 11月20日(土) 10：05～10：50

富屋地区のデータ

(令和3年8月末現在)
世帯数 1,601世帯
総人口 3,516人
男性 1,678人
女性 1,838人

情報提供のお願い

富屋のよさを伝えていきたいと思
います。「地域の風景や行事の写真」や「地
域で活躍されている方などの情報」を
ぜひ、右記事務局までお寄せください。

編集・発行

富屋地区まちづくり連絡協議会
〒321-2116
宇都宮市徳次郎町80番地2
(富屋地区市民センター内)
☎028-665-0002, 1663